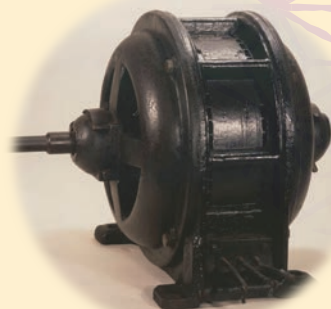


日立市文化財保存活用地域計画

【概要版】

我がまちの風土に培われた文化財を
市民のくらしに活かし守るまち



計画期間

令和3年度～令和12年度
(2021～2030)

1 文化財保存活用地域計画とは

各市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプランです。

2 「日立市文化財保存活用地域計画」策定の目的

本計画で文化財の保存・活用を進めることによって、平成29年（2017）に策定した「日立市文化振興指針」に定めた「ひたちらしさ」を明確にするとともに、「日立市に住むすべての人々が協働して、「ひたちらしさ」という個性ある文化を育て、誇りを持って、いつまでも住み続けたいと思えるようなまち」の姿（目標像）の実現を目指します。

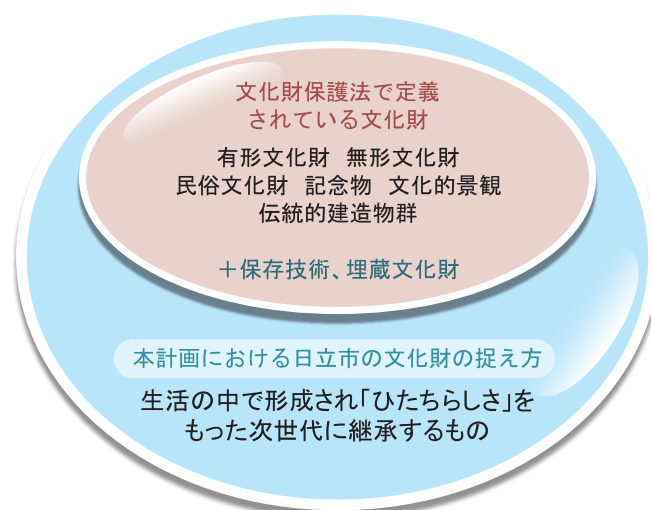
3 計画期間

本計画の計画期間は、令和3年度（2021）～令和12年度（2030）の10年間とし、前期（3年間）・中期（4年間）・後期（3年間）の3期に分ける。

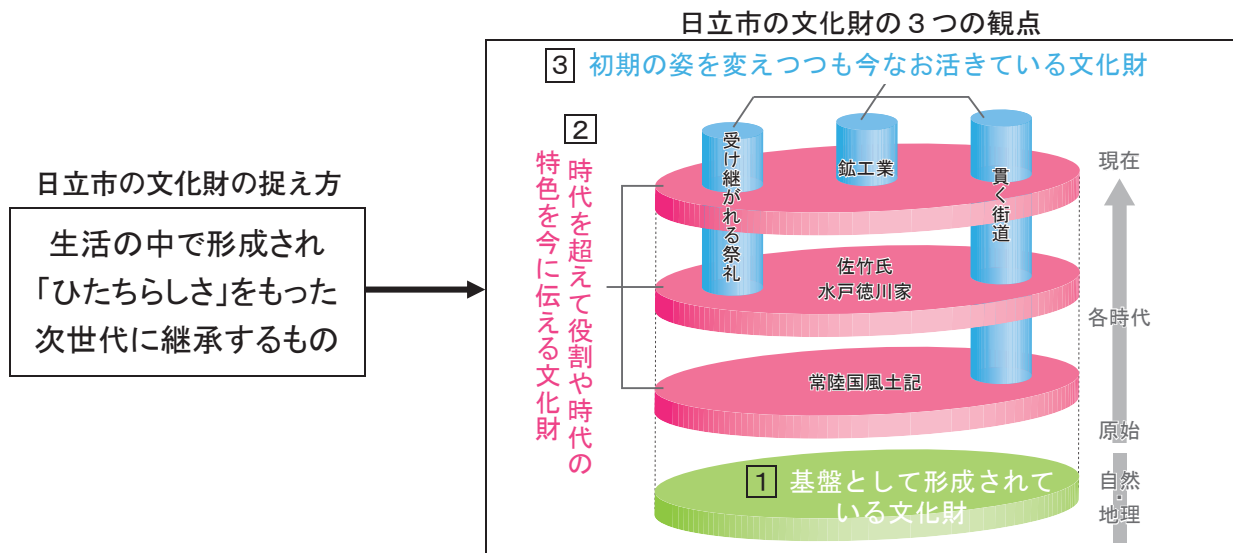
計 画 期 間		
前期（3年間）	中期（4年間）	後期（3年間）
令和3年度（2021） ～令和5年度（2023）	令和6年度（2024） ～令和9年度（2027）	令和10年度（2028） ～令和12年度（2030）

4 日立市の文化財の概要

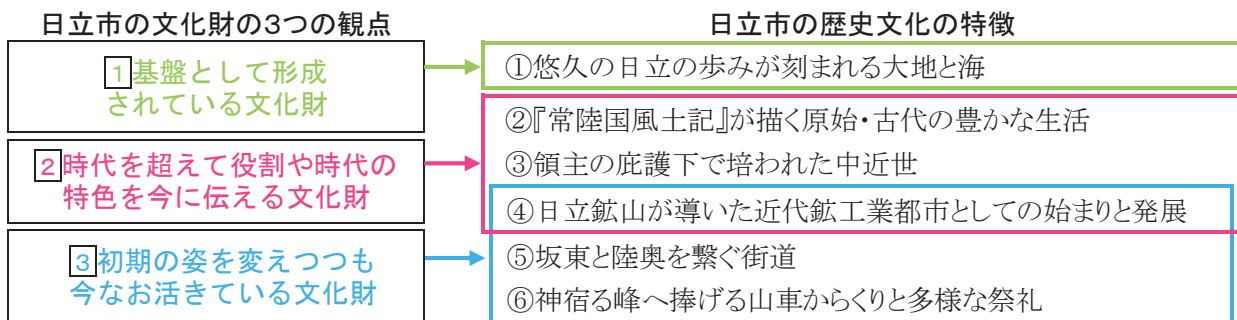
本市ではこれまで、歴史上、芸術上または学術上価値が高い文化財について、文化財保護法に基づく指定等により保護を図ってきました。今後は、これまで推進してきた地域の文化財の発掘・抽出に加え、文化財を多角的・総合的に捉え、相互の関連性を見いだすことによって、既往の類型にとらわれない実態の把握や価値の明確化を行っていく必要があります。さらに、文化財を単体や文化財群の一部としてのみ捉えるのではなく、周辺環境との結びつきの中で理解・把握することによって、市民と共に、周辺環境と一体となった保存・活用に積極的に取り組んでいくことを目指します。



本計画における文化財の捉え方イメージ



日立市の歴史文化の特徴を整理するための文化財の3つの観点



日立市の歴史文化の特徴

悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海

約5億年前に形成されたカンブリア紀の地層や、全国唯一の鶺鴒捕りの対象となるウミウの渡来や様々な巨木や樹叢が生育する豊かな生態系などの、海と山を中心とした自然的・地理的環境が展開している。

『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活

『常陸国風土記』に記された地名の現在地が推定可能であり、当時の人々の暮らしを想像できる遺跡が久慈川や十王川を中心に発見され、現代においても古代の有様を感じられる。

領主の庇護下で培われた中近世

大窪城などの中世の城館跡は佐竹氏、助川海防城跡は近世の水戸徳川家の支配の痕跡を示し、市内各地の寺社に残る仏像や絵画、棟札、流鏝馬などはそれらの領主から保護を受けたことを伝えている。

日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まり

近代に久原房之助が開発した日立鉱山、鉱山開発のため馬力誘導電動機を発明した小平浪平が創業した日立製作所は、世界に向けて展開する鉱工業都市としての現代の日立に繋がっている。

坂東と陸奥を繋ぐ街道

長者山遺跡は蝦夷討伐のための古代官道に付随する「藻島駅家」に推定され、陸奥国と隣接する地理的環境を特徴づけている。近世の岩城相馬街道と棚倉街道は、現代は国道として整備され受け継がれている。

神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼

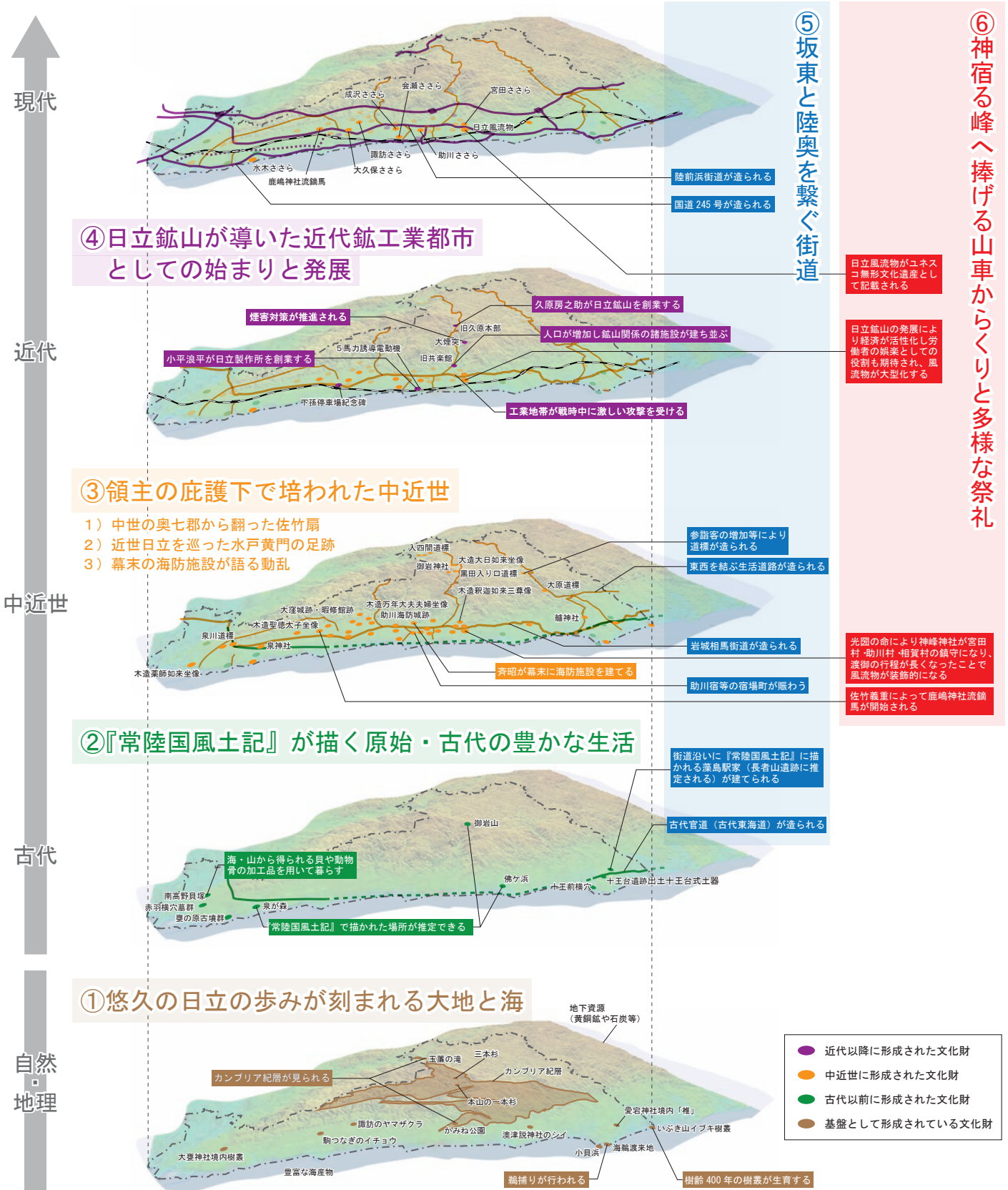
神峰神社の7年に一度の大祭礼で山車が市内を渡御する日立風流物や、渡御行列を先導するささらと呼ばれる獅子舞など、近世から続く祭礼や行事が、伝統を受け継ぎながら次の世代へ伝えられている。

日立市の歴史文化の特徴及び特徴を示す文化財等

日立市の歴史文化の特徴		日立市の歴史文化の特徴を示す文化財	日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地
①悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海		<u>いぶき山イブキ樹叢</u> 、 <u>本山の一本杉</u> 、 <u>海鷲渡来地</u> 、 <u>カンブリア紀層</u> 、 <u>御岩山</u> 、 <u>黄銅鉱</u> 等	—
②『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活		<u>泉が森</u> 、『常陸国風土記』、『常陸国風土記』記載の地名「 <u>高市</u> 」や「 <u>飽田の村</u> 」、 <u>南高野貝塚</u> 、 <u>赤羽横穴墓群</u> 等	泉が森周辺の集積地
③領主の庇護下で培われた中近世	③-1 中世の奥七郡から翻った佐竹扇	<u>大窪城跡</u> 及び <u>暇修館跡</u> 、 <u>相馬碑</u> 、 <u>要害城跡</u> 、 <u>泉神社</u> 等	大窪城跡周辺の集積地
	③-2 近世日立を巡った水戸黄門の足跡	<u>木造万年大夫夫婦坐像</u> (諏訪神社管理)、 <u>小野家住宅</u> 、 <u>助川宿跡</u> 等	諏訪神社周辺の集積地
	③-3 幕末の海防施設が語る動乱	<u>助川海防城跡</u> 、 <u>山野邊家墓所</u> 、 <u>藤田東湖揮毫諏訪神社大のぼり</u> 等	助川海防城跡周辺の集積地
④日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展		<u>旧久原本部</u> 、 <u>旧共楽館</u> 、 <u>5馬力誘導電動機</u> 、 <u>大煙突</u> 、 <u>サクラ</u> 、 <u>日立市天気相談所</u> 等	旧久原本部周辺の集積地
⑤坂東と陸奥を繋ぐ街道		<u>長者山遺跡</u> 、 <u>古代官道跡</u> 、 <u>豎破山の太刀割石</u> 、 <u>旧岩城相馬街道</u> (国道6号)、 <u>旧棚倉街道</u> (国道349号)、 <u>地名「前塚」</u> (助川一里塚跡) 等	長者山遺跡周辺の集積地
⑥神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼		<u>日立風流物</u> 、 <u>神峰神社</u> 、 <u>日立のささら</u> 、 <u>鹿嶋神社流鏝馬</u> 、 <u>御岩神社回向祭</u> 、 <u>鳥追いまつり</u> 、 <u>日立さくらまつり</u> 等	風流物周辺の集積地

※下線は指定等文化財

日立市の歴史文化の特徴イメージ



現代

近代

中近世

古代

自然・地理

④ 日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展

③ 領主の庇護下で培われた中近世

- 1) 中世の奥七郡から翻った佐竹扇
- 2) 近世日立を巡った水戸黄門の足跡
- 3) 幕末の海防施設が語る動乱

② 『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活

① 悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海

⑤ 坂東と陸奥を繋ぐ街道

⑥ 神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼

- 近代以降に形成された文化財
- 中近世に形成された文化財
- 古代以前に形成された文化財
- 基盤として形成されている文化財

日立風流物がユネスコ無形文化遺産として記載される

日立鉱山の発展により経済が活性化し労働者の娯楽としての役割も期待され、風流物が大型化する

光圀の命により神峰神社が宮田村・助川村・相賀村の鎮守になり、参詣の行程が長くなったことで風流物が装飾的になる

佐竹義重によって鹿嶋神社流鏝馬が開始される

陰前浜街道が造られる
国道 245 号が造られる

参詣客の増加等により道標が造られる
東西を結ぶ生活道路が造られる

岩城相馬街道が造られる
助川宿等の宿場町が賑わう

街道沿いに『常陸国風土記』に描かれる藤島駅家（長者山道跡に推定される）が建てられる
古代官道（古代東海道）が造られる

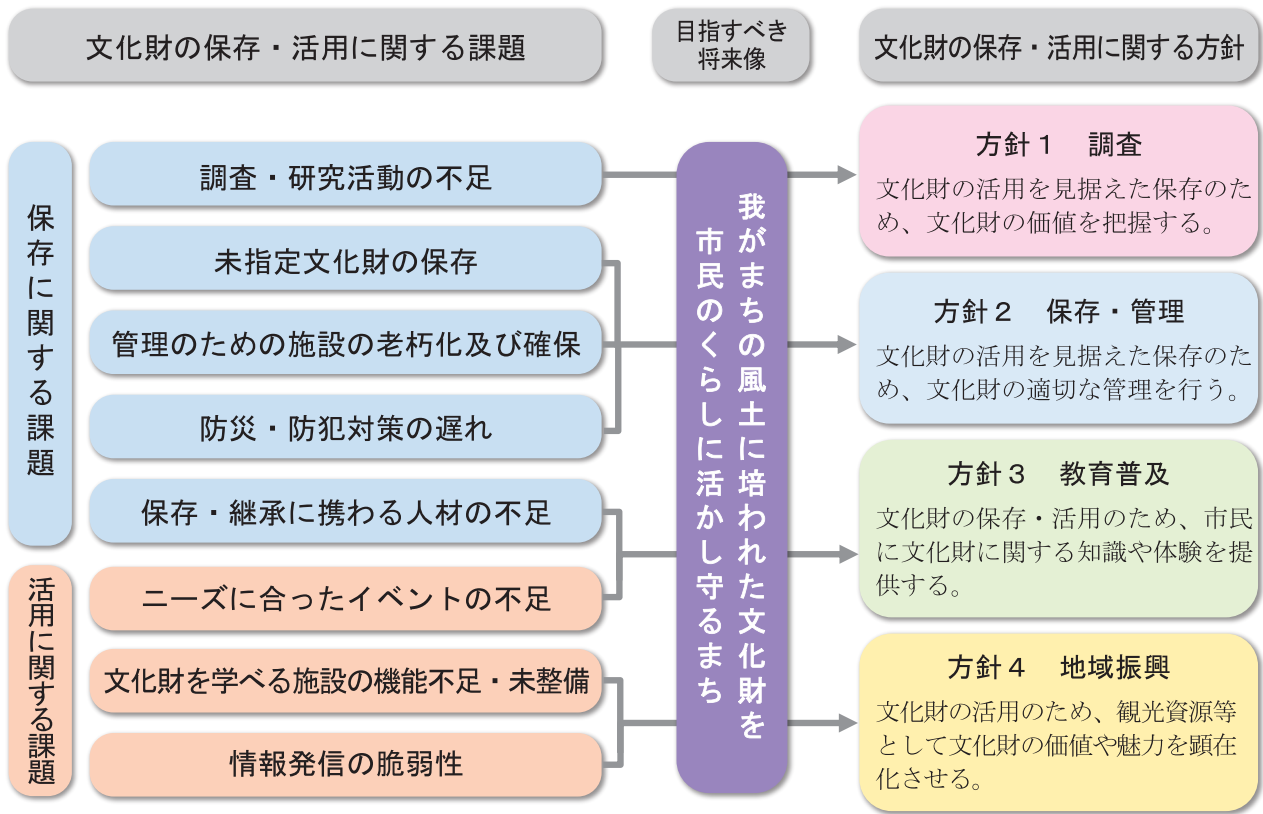
久原房之助が日立鉱山を創業する
人口が増加し鉱山関係の諸施設が建ち並ぶ
煙害対策が推進される
小平浪平が日立製作所を創業する
旧久原本部
旧共栄館
大煙突
5馬力誘導電動機
下孫停車場記念碑
工業地帯が戦時中に激しい攻撃を受ける

入四間道標
御岩神社
大造大日如来坐像
黒田入り口道標
大原道標
大造新迦如来三尊像
大造万年次夫夫婦坐像
助川海防城跡
船神社
大窪城跡・昭修館跡
木造聖徳太子坐像
泉神社
木造薬師如来坐像
泉川道標

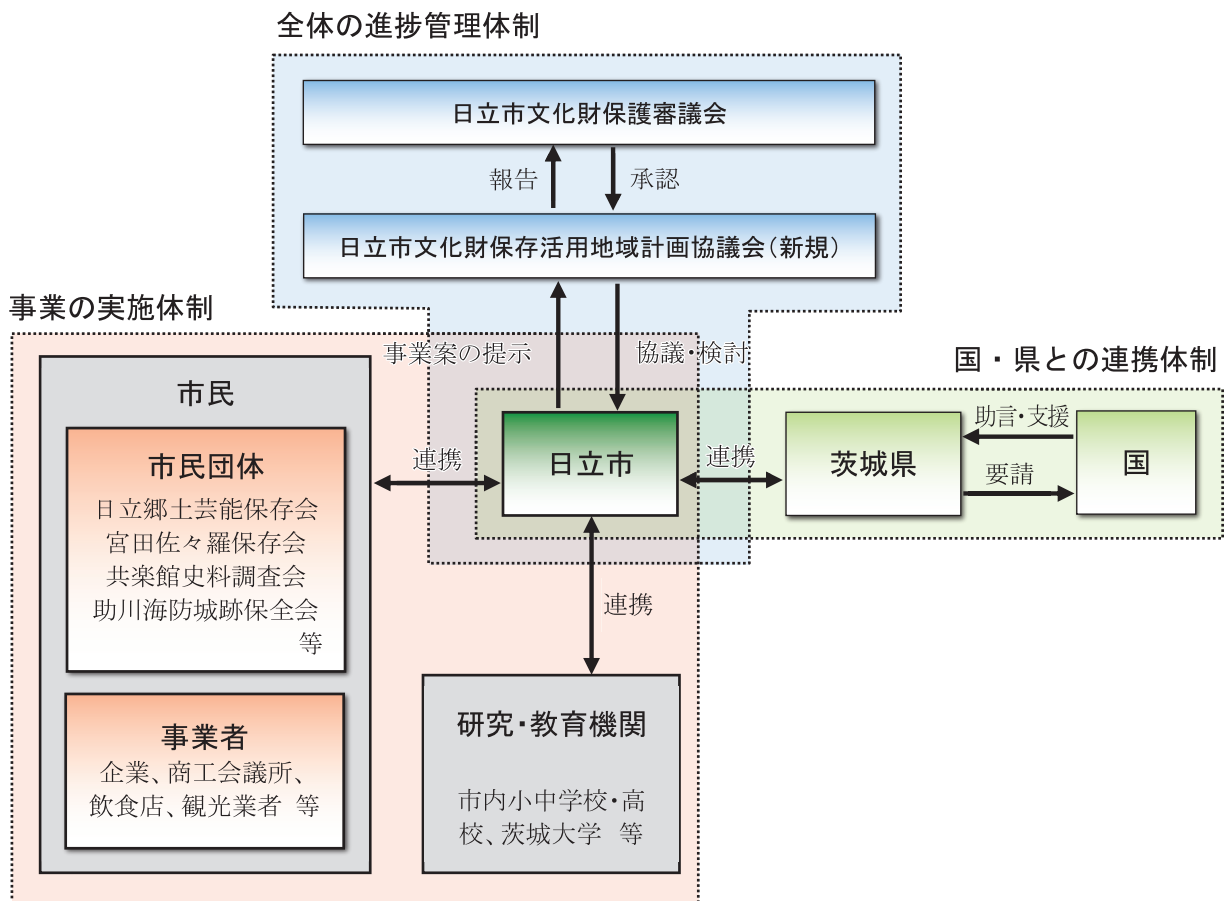
海・山から得られる貝や動物骨の加工品を用いて暮らす
南高野貝塚
赤羽横穴墓群
鹿の原古墳群
泉が森
佛ヶ浜
中玉前横穴
十玉台遺跡出土十玉台式土器
常陸国風土記で描かれた場所が推定できる

地下資源（黄銅鉱や石炭等）
玉簾の滝
三本杉
カンブリア紀層
本山の一本杉
諏訪のヤマザクラ
駒つなぎのイチヨウ
大聖神社境内樹叢
豊富な海産物
小貝浜
海輪渡茶地
樹齢 400 年の樹叢が生育する
鵜捕りが行われる
愛宕神社境内「榎」
いぶき山イブキ樹叢

文化財の保存・活用に関する方針



文化財の保存・活用の推進体制



5 文化財の保存・活用に関する措置

「文化財の保存・活用に関する方針」を踏まえ、市内の文化財等の状況に応じて、実施すべき保存・活用に関する措置と実施主体、財源、計画期間での実施時期を示します。実施時期は、緊急性の高い措置や、これまでの取組みの延長線上にある措置については前期で実施し、比較的緊急性の低い措置や新たな取組みが必要な措置、他機関との調整が重要な措置については中期・後期で実施することを検討します。措置は、市費、県費、国費（文化財補助金・地方創生推進交付金等）、その他民間資金等も活用しながら進めていきます。

文化財の保存・活用に関する方針		文化財の保存・活用に関する措置
方針1 調査	方針1-1 学術的調査・研究活動の強化	1. 調査・研究の継続 2. 中近世の城館・社寺に関する調査・研究 3. 近代産業の関連施設に関する調査・研究
方針2 保存・管理	方針2-1 市指定等の推進	4. 文化財の市指定の推進 5. 「日立市民文化遺産」登録の推進 6. 『増補・改訂版 日立市民文化遺産ガイドブック』の作成
	方針2-2 財源及び収蔵施設の確保や支援	7. 文化財の保存や活用に関わる財源確保 8. 老朽化した日立風流物収蔵庫の整備 9. 保存に関する団体等への支援
	方針2-3 防災・防犯対策の推進	10. 指定等文化財を優先とした防災・防犯設備の設置 11. 文化財防災体制の充実 12. 防犯のための文化財定期巡回の実施
方針3 教育普及	方針3-1 保存・継承に携わる人材の確保	13. 文化財研修事業への専門家派遣 14. 文化財を守る人材育成支援 15. 文化財を扱う保存団体等の育成支援
	方針3-2 児童・生徒に向けた教育の強化	16. 日立市郷土博物館職員や文化財技術者、専門家等による出前授業 17. 日立市郷土博物館や地域の文化財を訪れる校外学習 18. 子供たちによる新たな芸能の創出と発表 19. 文化財啓発映像の動画配信・公開 20. 歴史文化児童絵本の作成 21. 文化財クイズラリーの開催
	方針3-3 大人に向けた生涯学習の強化	22. 歴史文化講座の実施 23. 「ひたち生き生き百年塾」の活動強化
	方針3-4 文化財を活用する取組等への市民参画	24. 歴史文化の特徴に関する検定試験の実施 25. 文化財に関するAR画像・映像の作成コンテストの実施 26. 地域の小字名に関する調査・研究 27. 身近な伝承や信仰に関する調査・研究 28. ボランティアとしての市民ガイドの育成 29. 市民ガイドによる文化財ツアーの開催 30. 市民ワークショップによる新たな歴史文化の特徴の発見
方針4 地域振興	方針4-1 周辺の観光施設等を結ぶ周遊性の確保	31. 日立市文化財回廊の設定 32. サテライトガイダンス(ビジターセンター)の整備 33. 統一デザインの説明板・案内板の設置 34. 遺跡等におけるARを利用した仮想展示 35. 2次元バーコードによる周辺文化財や観光施設等への案内 36. 歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成
	方針4-2 魅力を伝える地域発信型観光の推進	37. 日立市文化財保存活用地域計画の概要版パンフレットの作成及び市民への配布 38. 観光ホームページでの文化財の紹介 39. 文化財関連イベントを紹介するホームページの開設 40. 市内外に向けた文化財プロモーションの作成 41. 文化財に関する季節ごとの情報提供やイベントの開催 42. 市民から募集したイメージモデルと文化財の写真のSNS投稿 43. DMO 発足に向けた調整や支援 44. 日立市文化財回廊(文化財周遊ルート)周辺飲食店等との連携調整

現状・課題・方針・措置の対応関係

現状	課題		方針	
調査・研究	保存に関する課題	調査・研究活動の不足	方針1 調査	方針1-1 学術的調査・研究活動の強化
指定・登録		未指定文化財の保存	方針2 保存・管理	方針2-1 市指定等の推進
適切な管理		管理のための施設の老朽化及び確保		方針2-2 財源及び収蔵施設の確保や支援
防災・防犯		防災・防犯対策の遅れ		方針2-3 防災・防犯対策の推進
市民参加による文化財保存		保存・継承に携わる人材の不足	方針3 教育普及	方針3-1 保存・継承に携わる人材の確保
イベントの開催	ニーズに合ったイベントの不足	方針3-2 児童・生徒に向けた教育の強化		
		方針3-3 大人に向けた生涯学習の強化		
		方針3-4 文化財を活用する取組等への市民参画		
普及啓発施設	活用に関する課題	文化財を学べる施設の機能不足・未整備	方針4 地域振興	方針4-1 周辺の観光施設等を結ぶ周遊性の確保
情報発信		情報発信の脆弱性		方針4-2 魅力を伝える地域発信型観光の推進

措 置

1. 調査・研究の継続	
2. 中近世の城館・社寺に関する調査・研究	
3. 近代産業の関連施設に関する調査・研究	
4. 文化財の市指定の推進	
5. 「日立市民文化遺産」登録の推進	
6. 『増補・改訂版 日立市民文化遺産ガイドブック』の作成	
7. 文化財の保存や活用に関わる財源確保	
8. 老朽化した日立風流物収蔵庫の整備	
9. 保存に関する団体等への支援	
10. 指定等文化財を優先とした防災・防犯設備の設置	
11. 文化財防災体制の充実	
12. 防犯のための文化財定期巡回の実施	
13. 文化財研修事業への専門家派遣	
14. 文化財を守る人材育成支援	
15. 文化財を扱う保存団体等の育成支援	
16. 日立市郷土博物館職員や文化財技術者、 専門家等による出前授業	17. 日立市郷土博物館や地域の文化財を訪れる校外学習
18. 子供たちによる新たな芸能の創出と発表	19. 文化財啓発映像の動画配信・公開
20. 歴史文化児童絵本の作成	21. 文化財クイズラリーの開催
22. 歴史文化講座の実施	
23. 「ひたち生き生き百年塾」の活動強化	
24. 歴史文化の特徴に関する検定試験の実施	25. 文化財に関するAR画像・映像の作成コンテストの実施
26. 地域の小字名に関する調査・研究	27. 身近な伝承や信仰に関する調査・研究
28. ボランティアとしての市民ガイドの育成	29. 市民ガイドによる文化財ツアーの開催
30. 市民ワークショップによる新たな歴史文化の特徴の発見	
31. 日立市文化財回廊の設定	32. サテライトガイダンス（ビジターセンター）の整備
33. 統一デザインの説明板・案内板の設置	34. 遺跡等におけるARを利用した仮想展示
35. 2次元バーコードによる周辺文化財や観光 施設等への案内	36. 歴史文化の特徴の解説書・パンフレットの作成
37. 日立市文化財保存活用地域計画の概要版パンフ レットの作成及び市民への配布	38. 観光ホームページでの文化財の紹介
39. 文化財関連イベントを紹介するホームペ ージの開設	40. 市内外に向けた文化財プロモーションの作成
41. 文化財に関する季節ごとの情報提供やイベ ントの開催	42. 市民から募集したイメージモデルと文化財の写真のSNS投稿
43. DMO 発足に向けた調整や支援	44. 日立市文化財回廊（文化財周遊ルート）周辺飲食店等との 連携調整

6 日立市文化財回廊の設定及びサテライトガイダンスの整備

文化財の普及啓発と地域振興を推進する上で効果的と考えられる「日立市文化財回廊の設定」及び「サテライトガイダンス（ビジターセンター）の整備」について、重点的に実施します。

「日立市文化財回廊の設定」については、日立市の歴史文化の特徴①～⑥を示す文化財の集積地を対象として、各歴史文化の特徴を示す文化財や周辺の観光施設等を巡る「文化財回廊」という6つの周遊ルートを設定します。人々が「文化財回廊」を利用した周遊を行うことによって、文化財の普及啓発の機会や、周辺への利益創出の機会促進を見込んでいます。「文化財回廊」は、市内全体を対象としたものと、各文化財の集積地を対象としたものの2種類を設定します。

歴史文化の特徴と日立市文化財回廊及びサテライトガイダンス

歴史文化の特徴	日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地	対象	日立市文化財回廊	サテライトガイダンス	
①悠久の日立の歩みが刻まれる大地と海	—	全市体内	悠久のひたちを巡る回廊	—	
②『常陸国風土記』が描く原始・古代の豊かな生活	泉が森周辺の集積地	日立市の歴史文化の特徴を示す文化財の集積地	古と近代の理想郷ひたちを追想する回廊	日立オリジンパーク	
③領主の庇護下で培われた中近世	③-1 中世の奥七郡から翻った佐竹扇		大窪城跡周辺の集積地	中近世の情熱を辿る回廊	暇修館
	③-2 近世日立を巡った水戸黄門の足跡		諏訪神社周辺の集積地		
	③-3 幕末の海防施設が語る動乱		助川海防城跡周辺の集積地		
④日立鉱山が導いた近代鉱工業都市としての始まりと発展	旧久原本部周辺の集積地		鉱工業都市ひたちの軌跡が導く回廊	日鉱記念館	
⑤坂東と陸奥を繋ぐ街道	長者山遺跡周辺の集積地		坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊	伊師町田園都市センター	
⑥神宿る峰へ捧げる山車からくりと多様な祭礼	風流物周辺の集積地	からくりと祭礼が描く回廊	風流物展示施設		

日立市文化財回廊と拠点となるビジターセンターの位置

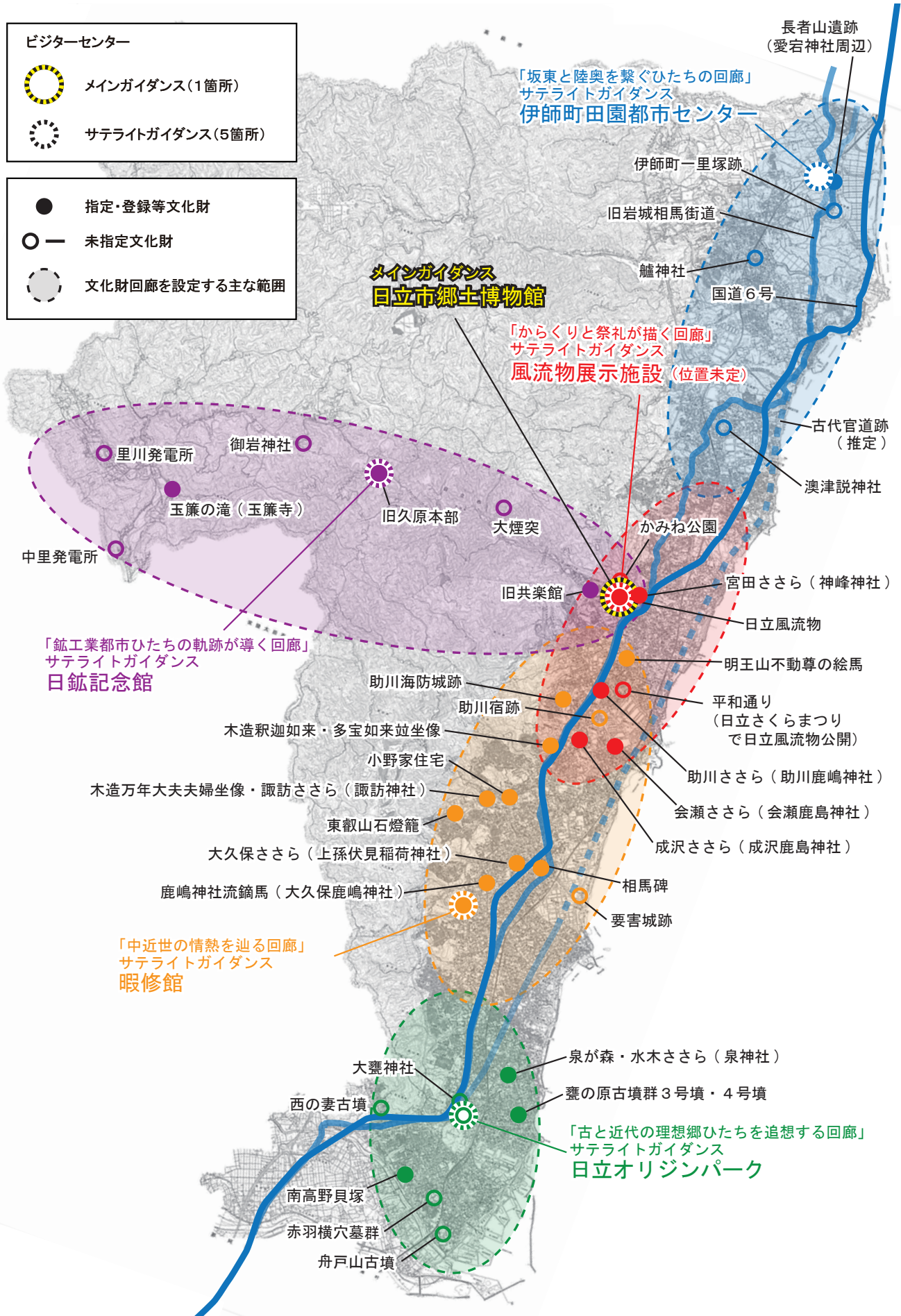
ビジターセンター

- (黄黒点線) メインガイドンス(1箇所)
- (黒点線) サテライトガイドンス(5箇所)

● (黒) 指定・登録等文化財

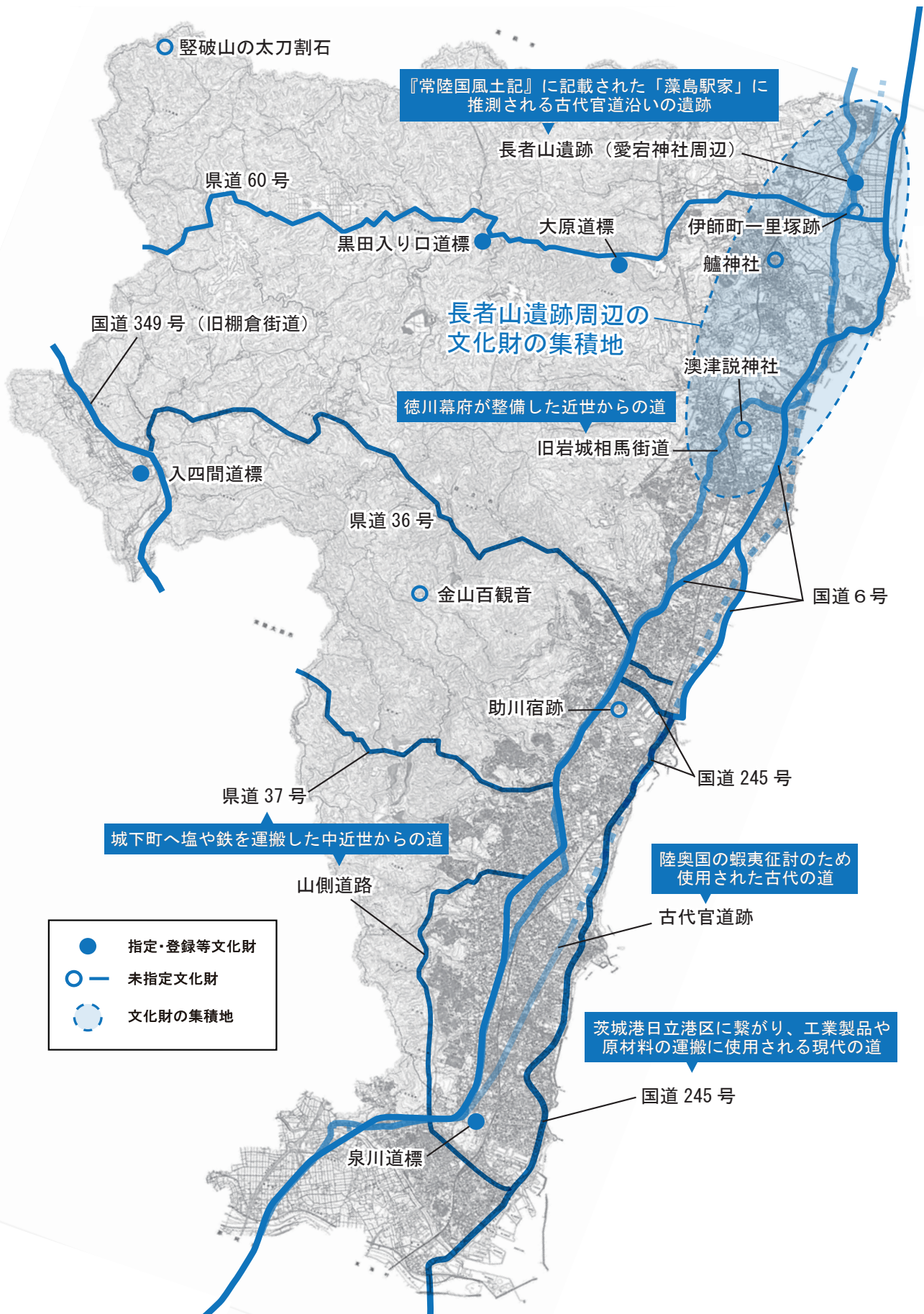
○ (白) 未指定文化財

○ (黒点線) 文化財回廊を設定する主な範囲



坂東と陸奥を繋ぐひたちの回廊〈サテライトガイド：伊師町田園都市センター〉 ※重点

◎「長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡保存活用計画」で対応



からくりと祭礼が描く回廊〈サテライトガイドス：風流物展示施設〉 ※重点

◎「日立風流物保存活用計画」で対応



【参考資料】

1 おもな文化財リスト

(1) 指定文化財リスト

ア 国指定文化財（4件）

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
日立風流物（5段屋形開閉式山車1基）	宮田町 神峰神社	昭和34年5月6日	重要有形民俗文化財	1
日立風流物	宮田町 神峰神社	昭和52年5月17日	重要無形民俗文化財	1
いぶき山イブキ樹叢	十王町	大正11年10月12日	天然記念物	2
長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡	十王町	平成30年10月15日	史跡	3

イ 県指定文化財（24件）

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
小野家住宅	諏訪町	昭和49年11月25日	建造物	5
絹本著色阿弥陀如来来迎図	日立市郷土博物館	昭和49年3月31日	絵画	6
木造釈迦如来三尊像	宮田町	昭和37年10月24日	彫刻	7
木造大日如来坐像	入四間町	昭和44年12月1日	彫刻	8
木造観音菩薩坐像	東河内町	昭和44年12月1日	彫刻	9
木造万年大夫夫婦坐像 (胎内像を含む)	日立市郷土博物館	昭和49年3月31日	彫刻	10
木造薬師如来坐像	久慈町	昭和54年11月1日	彫刻	11
木造聖徳太子坐像	金沢町	昭和57年3月4日	彫刻	12
古鏡	弁天町	昭和32年1月25日	工芸品	13
蒔絵鏡箱	弁天町	昭和49年3月31日	工芸品	13
大般若波羅密多経	神峰町	昭和37年2月26日	書跡	14
訂正常陸国風土記版木 付箱板2枚	茨城県立歴史館	昭和60年3月25日	歴史資料	15
5馬力誘導電動機 附設計図1枚	幸町	平成14年1月25日	歴史資料	16
十王台遺跡出土十王台式土器	日立市郷土博物館 東京国立博物館	平成14年12月25日	考古資料	17
日立風流物人形頭	神峰町	昭和39年7月31日	有形民俗文化財	14
日立のささら			無形民俗文化財	
宮田ささら	宮田町 神峰神社	昭和38年8月23日		18
助川ささら	鹿島町 鹿嶋神社	昭和38年8月23日		19
会瀬ささら	会瀬町 鹿嶋神社	昭和38年8月23日		20
大久保ささら	桜川町 伏見稲荷	昭和45年9月28日		21
諏訪ささら	諏訪町 諏訪神社	昭和45年9月28日		22

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
水木ささら	水木町 泉神社	昭和45年9月28日		23
成沢ささら	中成沢町 鹿島神社	昭和46年7月19日		24
佛ヶ浜（度志観音を含む）	田尻町	昭和30年6月25日	史跡	25
助川海防城跡	助川町	昭和42年11月24日	史跡	26
泉が森	水木町 泉神社	昭和44年12月1日	史跡	27
旧久原本部	日鉦記念館	昭和45年9月28日	史跡	28
南高野貝塚	南高野町	昭和54年3月8日	史跡	29
海鷗渡来地	川尻町	昭和31年5月25日	天然記念物	30
御岩山の三本杉	入四間町 御岩神社	昭和43年9月26日	天然記念物	8
駒つなぎのイチョウ	大久保町 鹿嶋神社	昭和44年12月1日	天然記念物	31

ウ 市指定文化財（44件）

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
泉川道標	大みか町	昭和46年1月21日	建造物	32
入四間道標	東河内町	昭和55年4月24日	建造物	33
旧共楽館（日立武道館）	白銀町	平成21年9月30日	建造物	4
下孫停車場記念碑	多賀町	平成27年3月24日	建造物	34
絹本著色涅槃図	日立市郷土博物館	昭和55年4月24日	絵画	6
木造阿弥陀如来坐像	入四間町	昭和47年7月27日	彫刻	8
日光・月光菩薩立像	久慈町	昭和49年3月27日	彫刻	11
木造阿弥陀如来坐像	日立市郷土博物館	昭和53年12月21日	彫刻	6
木造釈迦如来・多宝如来竝坐像	西成沢町	昭和54年2月22日	彫刻	35
火縄三眼鏡	日立市郷土博物館	昭和46年1月21日	工芸品	6
旧助川西上町舞屋台	鹿島町	昭和47年2月24日	工芸品	36
東叡山石燈籠	諏訪町	昭和48年8月23日	工芸品	37
太刀（銘・大江勝永）	千石町	昭和51年11月25日	工芸品	38
短刀（銘・驚鯢丸）	千石町	昭和62年10月22日	工芸品	38
藤田東湖揮毫諏訪神社大のぼり	日立市郷土博物館	昭和46年1月21日	書跡	6
藤田東湖揮毫南高野鹿島神社大幟	日立市郷土博物館	昭和61年3月27日	歴史資料	6
吉田神社棟札	日立市郷土博物館	平成7年3月27日	歴史資料	6
鱸神社棟札	十王町	平成4年12月1日	歴史資料	39
友部村絵図	日立市郷土博物館	平成13年3月21日	歴史資料	6
諏訪遺跡出土縄文土器	日立市郷土博物館	平成6年5月23日	考古資料	6
愛宕原火葬墓出土骨蔵器	日立市郷土博物館	平成13年3月21日	考古資料	6
十王台南遺跡第1号住居跡出土遺物	日立市郷土博物館	平成13年3月21日	考古資料	6
明王山不動尊の絵馬	神峰町	昭和60年2月28日	有形民俗文化財	40

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
日立郷土芸能保存会北町支部 所有の風流物人形頭	日立市郷土博物館	平成13年12月21日	有形民俗文化財	6
日立郷土芸能保存会西町支部 所有の風流物人形頭	日立市郷土博物館	平成13年12月21日	有形民俗文化財	6
黒田入り口道標	十王町	平成7年3月10日	有形民俗文化財	41
大原道標	十王町	平成7年3月10日	有形民俗文化財	42
鶉捕りの技術	(十王町伊師・碁石浦)	平成4年12月1日	無形民俗文化財	30
鹿嶋神社流鏝馬	大久保町	平成31年1月24日	無形民俗文化財	31
助川海防城跡(県指定区域を除く)	助川町	昭和45年8月20日	史跡	26
大窪城跡及び暇修館跡	大久保町	昭和47年7月27日	史跡	43
相馬碑	多賀町	昭和51年11月25日	史跡	44
十王前横穴	川尻町	昭和56年2月19日	史跡	45
甕の原古墳群3号墳	大みか町	平成6年5月23日	史跡	46
甕の原古墳群4号墳	大みか町	平成6年5月23日	史跡	46
山野邊家墓所	高鈴町	平成14年8月22日	史跡	47
水漏舎小学校跡	中成沢町	平成27年3月24日	史跡	48
玉簾の滝	東河内町	昭和46年7月21日	名勝	49
小貝浜	川尻町	昭和55年8月28日	名勝	50
大甕神社境内樹叢	大みか町	昭和46年4月22日	天然記念物	51
澳津説神社のシイ	小木津町	昭和48年8月23日	天然記念物	52
本山の一本杉	宮田町	昭和49年6月27日	天然記念物	53
諏訪のヤマザクラ	諏訪町	昭和49年6月27日	天然記念物	54
愛宕神社境内「椎」	十王町	昭和57年5月25日	天然記念物	55

エ 国登録有形文化財（1件）

名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
旧共楽館（日立武道館）	白銀町	平成11年7月8日	—	4

オ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）（1件）

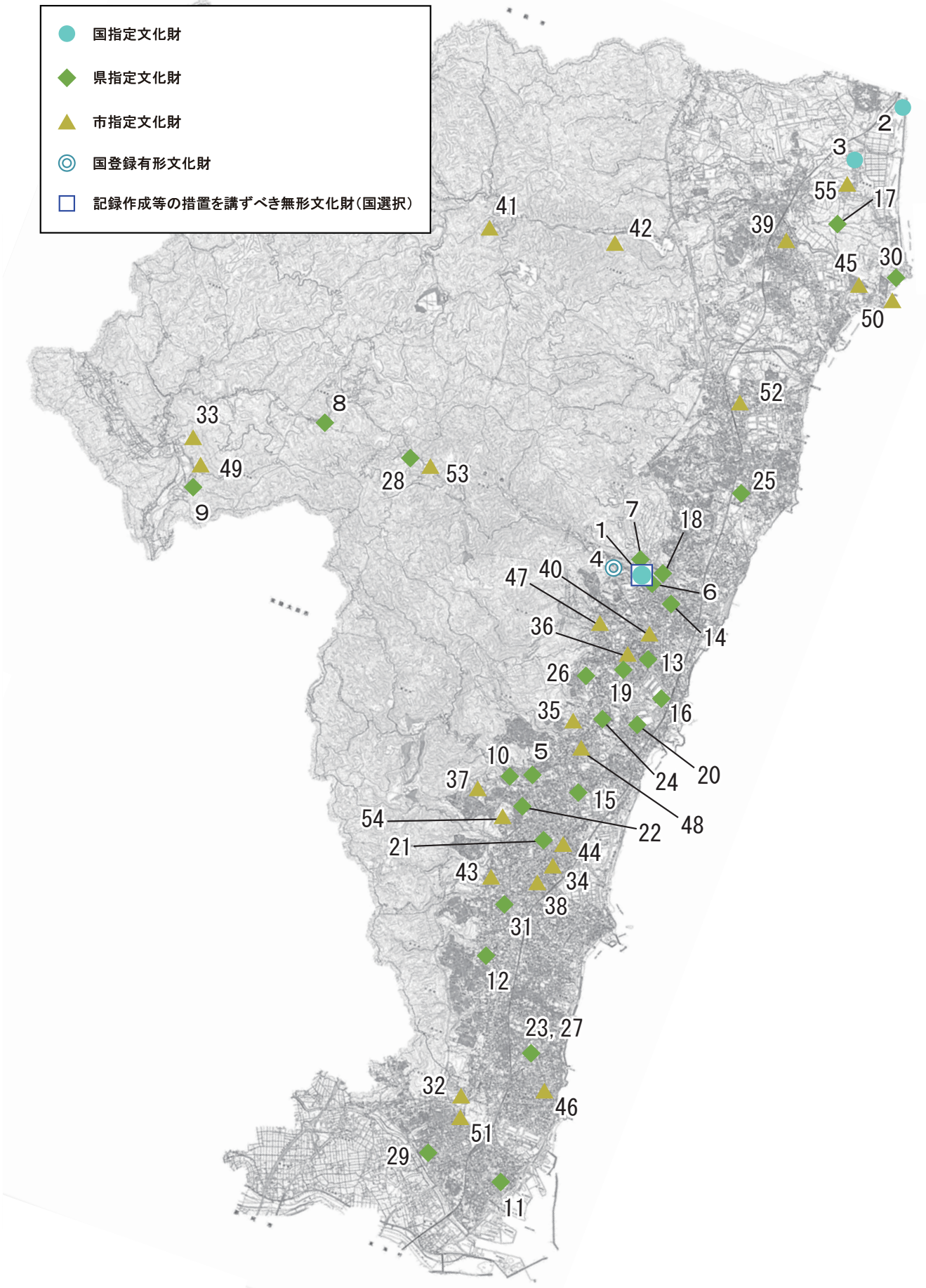
名 称	所 在 地	指定年月日	種 別	図中番号
日立風流物	宮田町 神峰神社	昭和49年12月4日	無形民俗文化財	1

(2) ユネスコ無形文化遺産

国指定文化財である「日立風流物」は、平成28年（2016）11月30日（日本時間12月1日）、ユネスコの「無形文化遺産の保護に関する条約」における「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に「山・鉾・屋台行事」として記載された。

日立市の指定等文化財の位置

- 国指定文化財
- ◆ 県指定文化財
- ▲ 市指定文化財
- ◎ 国登録有形文化財
- 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財(国選択)

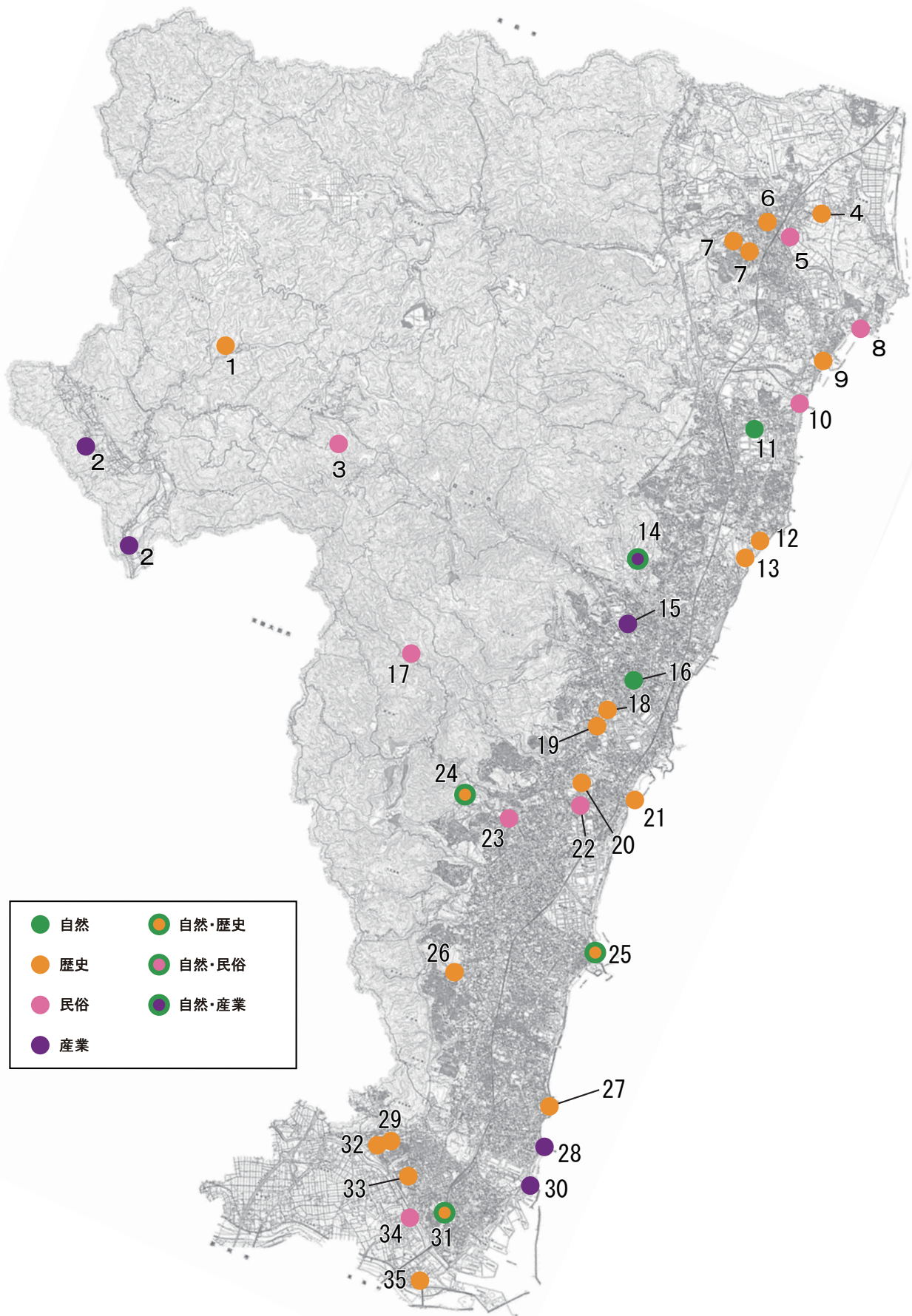


(3) 未指定文化財（『日立市民文化遺産ガイドブック』より）

『日立市民文化遺産ガイドブック』にまとめられた104件から、指定文化財と重複するもの、既に存在しないものを除く35件を示した。

名 称	所 在 地	種 別	分 野	図中番号
撫子山の能因法師歌碑	中深荻町	建造物	歴史	1
中里発電所と里川発電所	東河内町、下深荻町	建造物	産業	2
御岩神社と回向祭	入四間町	民俗	民俗	3
伊師町一里塚跡	十王町伊師	史跡	歴史	4
十王町の徒歩鶴漁	十王町友部	民俗	民俗	5
友部海防陣屋跡	十王町友部	史跡	歴史	6
山尾城跡と友部城跡	十王町友部	史跡	歴史	7
金色姫伝説の伝わる蚕養神社	川尻町2丁目	民俗	民俗	8
大津淳一郎顕彰碑	川尻町1丁目	建造物	歴史	9
小木津浜風流物	小木津町	民俗	民俗	10
日立紅寒桜	日高町2丁目	天然記念物	自然	11
空窪廃寺の不動明王	田尻町7丁目	彫刻	歴史	12
太田尻海岸の西行法師歌碑	東滑川町5丁目	建造物	歴史	13
かみね公園と公園内の石碑群、動物園	宮田町5丁目	建造物	自然・産業	14
熊野神社の日立製作所創業石	白銀町1丁目	史跡	産業	15
平和通りのサクラ並木	神峰町、鹿島町、若葉町、 弁天町、平和町、幸町	天然記念物	自然	16
金山百観音	助川町	民俗	民俗	17
助川一里塚跡	鹿島町3丁目	史跡	歴史	18
山野邊氏家臣墓所	城南町1丁目	史跡	歴史	19
水漏舎跡一池の川弁天池公園	中成沢町2丁目	史跡	歴史	20
島木赤彦歌碑	東成沢町1丁目	建造物	歴史	21
小豆洗不動尊	東成沢町3丁目	民俗	民俗	22
常陸之國御諏訪太鼓	諏訪町3丁目	民俗	民俗	23
諏訪梅林と長塚節歌碑	諏訪町	天然記念物	歴史・自然	24
河原子海岸の烏帽子岩と藤田東湖詩碑	河原子町2丁目	天然記念物	自然・歴史	25
照山修理顕彰碑	金沢町2丁目	建造物	歴史	26
でんがくばら児童公園の長塚節歌碑と 水木遠見番所跡	水木町1丁目	史跡	歴史	27
日立灯台	大みか町4丁目	建造物	産業	28
石名坂の西行法師歌碑	石名坂町1丁目	建造物	歴史	29
三代芳松像	久慈町1丁目	彫刻	産業	30
赤羽緑地と赤羽横穴墓群	久慈町5丁目	史跡	自然・歴史	31
西の妻古墳群1号墳	石名坂町1丁目	史跡	歴史	32
西大塚古墳群1号墳石室	南高野町3丁目	史跡	歴史	33
八つ凧	茂宮町	民俗	民俗	34
留町の木造聖観音像	留町	彫刻	歴史	35

日立市民文化遺産の位置



2 「ひたちらしさ」を象徴する文化財

本市では、文化財保護法や文化財保護条例によって多くの文化財の保護が図られている。一方で本市には、文化財としての保護が図られていないものの、「日立市文化振興指針」で定めた「ひたちらしさ」を象徴し、後世に受け継がれていくべきものも多く存在している。



近現代の歴史を伝えるもの、本市の基幹産業である鉱工業に関連するもの、「世界一」や「日本一」という評価を受けているもの、本市民にとって誇りや愛着の対象であると考えられるものを、産業、インフラ、観光、美術・学術、音楽、運動、自然の分類で以下に選出した。

なお、産業に分類される文化財には、日立鉱山や日立製作所から発展した関連施設が挙げられるが、本項では稼働終了した施設や、用途変更を経て使用され続けている施設のみ取り上げた。



(1) 「ひたちらしさ」を象徴する近現代の文化財

分類	名称	概要	写真
産 業	大煙突	煙害解決のために日立鉱山が建設した煙突である（大正4年（1915）完成）。全長155.7メートルは建設当時世界一の高さを誇った。平成5年（1993）に倒壊し、現在は、当時の三分の一が残った状態で稼働している。	 <p>昭和15年（1940）の日立鉱山大雄院製錬所と大煙突（『新郷土日立 歴史』より）</p>
	日立市天気相談所	地方自治体の行政組織として直営では唯一の気象観測所である。日立鉱山が煙害対策のため運営していたものを市が引き継いだ。	 <p>日立市天気相談所 （ひたち風HPより）</p>
	昇開式可動橋	市内の工場で作られた大型の発電機等を茨城港日立港区まで運ぶ大型トレーラーの通行を妨げないために、上下に動く国道245号線の歩道橋である。	 <p>昇開式可動橋 （ひたち風HPより）</p>

分類	名 称	概 要	写 真
インフラ	日立LNG基地	世界最大級の地上式LNGタンクが設置されている、茨城港日立港区内の東京ガス基地である。	 <p>日立LNG基地 (ひたち風HPより)</p>
	JR日立駅駅舎	本市出身の世界的建築家、妹島和世氏のデザイン監修の駅舎である。鉄道の国際デザインコンペティション「ブルネル賞駅舎部門」の優秀賞を受賞するなど、世界の最も美しい駅舎の一つとして高く評価されている。	 <p>JR日立駅駅舎 (日立の観光案内HPより)</p>
観光	茨城県立国民宿舎鵜の岬	太平洋を望むロケーションと丁寧な接客から、宿泊利用率が29年連続1位の国民宿舎である。	 <p>茨城県立国民宿舎鵜の岬 (ひたち風HPより)</p>
美術・学術	日立市郷土博物館所蔵品	日立市郷土博物館は「市民の教養と憩いの場」として、郷土に関わる多くの考古・歴史・産業・民俗・美術資料を所蔵している。	 <p>日立市郷土博物館</p>
音楽	吉田メロディー	吉田正は昭和期を代表する本市出身の作曲家である。彼の作品は吉田メロディーと呼ばれており、市内の吉田正音楽記念館では様々な音楽イベントが市民に楽しまれている。	 <p>吉田正音楽記念館 (ひたち風HPより)</p>

分類	名 称	概 要	写 真
運 動	ラジオ体操	遠山喜一郎は昭和26年（1951）に放送が始まったラジオ体操の考案者である。明治42年に多賀郡坂上村（現在の水木町）に生まれ、ベルリンのオリンピックに体操の日本代表選手として出場した。	 <p>遠山喜一郎 (日立市HPより)</p>
	パンポン	創業時の日立製作所で生まれた、テニスと卓球の間のようなスポーツである。市内ではパンポンの大会や小学校での講習会が行われている。	 <p>パンポン (ひたち風HPより)</p>

(2) 基盤として形成されている文化財

分類	名 称	概 要	写 真
自 然	カンブリア紀層	多賀山地の地層で最も古いものは約5億年前のカンブリア紀に遡り、これは国内でも最古の貴重な地質である。カンブリア紀層は、山間部の御岩神社や玉簾寺だけでなく、市内のかみね公園展望台付近などで確認することができる	 <p>『新郷土日立 地理 <改訂二版>』より</p>
	日立鉱山の黄銅鉱	カンブリア紀層の中にある鉱床の一つに、層上含銅硫化鉄鉱床がある。鉱床からは黄銅鉱という鉱石が採掘されるが、赤沢銅山時代から開発が進まずにいた。日立鉱山は、機械化によって大規模な採掘に成功し、これが現代の工業都市日立の誕生に繋がった。	 <p>日立鉱山の産石</p>

日立市文化財保存活用地域計画 概要版

令和4（2022）年3月発行

編集・発行 日立市郷土博物館

〒317-0055 茨城県日立市宮田町5丁目2番22号

TEL 0294 (23) 3231

FAX 0294 (23) 3230

Email hakubutsukan@city.hitachi.lg.jp

